

# 警告 安全のために

## 警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

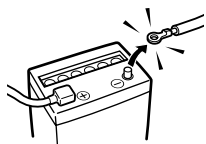
本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



セーフティドライブ用コードは必ず接続する。セーフティドライブ用コードは接続図にしたがって必ず配線してください。正常な動作が行われなくなり事故やけがの原因となります。

### 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外す

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。

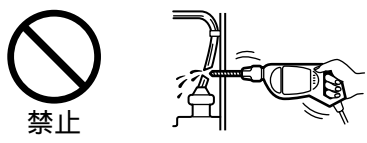


前方の視界を妨げる場所に取付けない。前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



### パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



### 助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

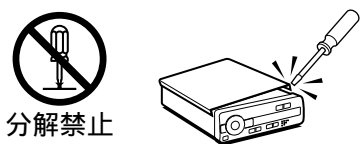


### ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

### 分解や改造をしない

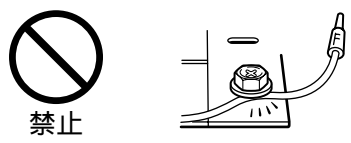
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



### 運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

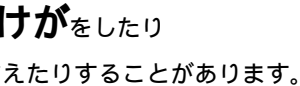
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



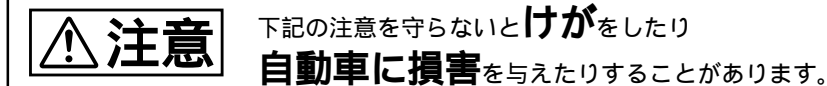
### 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



### 雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



### 安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



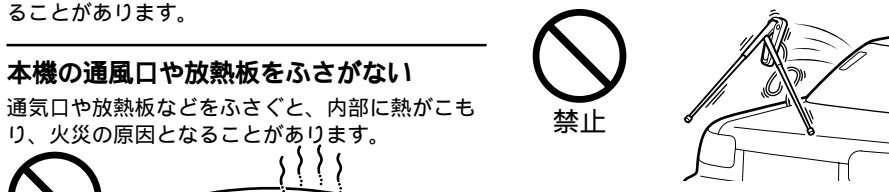
### アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。



### 付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかりと固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。



本機の通風口や放熱板をふさがない。通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



# モバイルカラーTV

## 取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する。本機は取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

正しい取付け 正しい操作で 安全運転



## XTL-75V

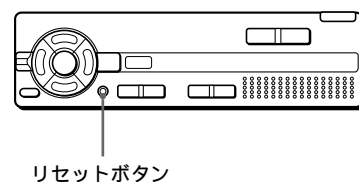
Sony Corporation ©1998 Printed in Japan

### 取り付け/接続部品(付属)

- ①マジックテープ ×2
- ②TVチューナーユニット ×2
- ③本体用電源コード (0.25 m)
- ④アースコード(0.5 m) 用電源コード(2.5 m)
- ⑤圧着式コネクタ ×2
- ⑥K5×6ネジ ×4
- ⑦T5×6ネジ ×4
- ⑧日産車用プレート ×2
- ⑨FMトランスミッターアンテナ(2 m) ×2
- ⑩両面テープ(FMトランスミッターアンテナ用) ×2
- ⑪両面テープ(日産車用プレート用) ×2
- ⑫フロントパネルプレート ×2
- ⑬ワッシャー(6) ×2

## 取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 正しく動作させるために、必ず本体にあるリセットボタンをボールペンの先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



ソニー株式会社  
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35  
お問い合わせはお客さま相談センターへ  
● ナビダイヤル……………0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)  
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311  
● Fax……………0466-31-2595  
受付時間:月~金 9:00~20:00、土・日・祝日 9:00~17:00



# 取り付け

## 本機(モニター)を取り付ける前に

本機(モニター)は安全性を重視して設計されておりますが、正しい位置に確実に取り付けを行わないと事故の原因となり大変危険です。

取り付けの前に、必ず下記事項の確認を行なってください。

- モニターをセットしたときに、エアコンの吹き出し口の近くの場合は吹き出し口を閉じてください。
- 本機はイグニッションキースイッチにアクセサリ(ACC)ポジションのない車には取り付けられません。
- モニターをセットしたときに、ハザードランプスイッチなどがモニターの後ろに隠れずに、すぐに押せることを確認してください。
- 本機(モニター)は極端に低温または高温になる場所には取り付けないでください。(キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。)また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、日光が直接当たらないようにしてください。

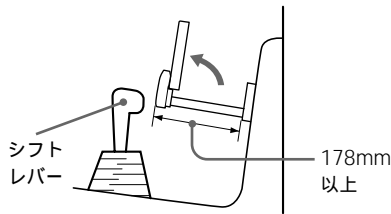
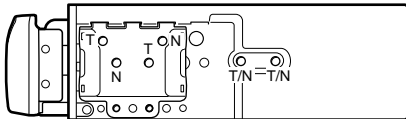
## センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

トヨタ車、日産車、三菱車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとに本機(モニター)を取り付けられます。取り付け可能車種はお買い上げ店にお問い合わせください。

お車が上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。

### ご注意

- 本機はローディング機構を搭載していますのでシャーシを歪ませて取り付けると正常に動作しない場合があります。この場合はシャーシが歪まないように再度取り付けネジを締め直してください。
- 純正ブラケットを本機(モニター)に取り付けるとき、本機(モニター)側面に刻印されているT(トヨタ車/三菱車用)、N(日産車用)マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、付属のネジ⑩または⑪で取り付けてください。
- 別売りのGMD-235を使用する場合は、付属のワッシャ⑩とネジ⑩を使用して金具を取り付けてください。
- モニターのセット/収納のためには、シフトレバーからモニターのフロントパネル部まで178mm以上の間隔が必要です。
- シフトレバーの位置によっては、フロントパネル部が当たる場合があります。シフトレバーを一番前にしたときに運転の妨げにならないことを確認してください。
- 本機(モニター)とマスターユニット(1DINサイズ)を重ねて取り付ける場合は、本機(モニター)を上段に取り付けます。

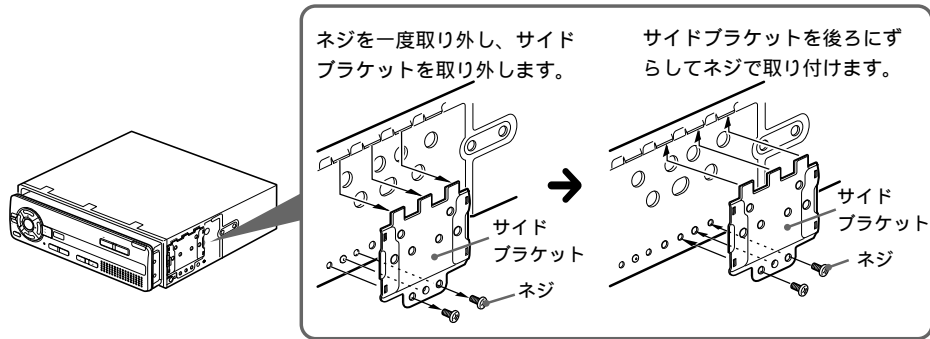


### 1 純正カーオーディオを取り外す。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機(モニター)を取り付けます。

### 2 本機(モニター)の後部が車両側に当たるときや、セットしたモニター背面部がセンターコンソールに当たるときは、取り付け位置を移動させる。

本機(モニター)の両側に取り付けられているネジを一度取り外し、サイドブラケットを取り外します。サイドブラケットを後ろにずらしてネジで取り付けます。



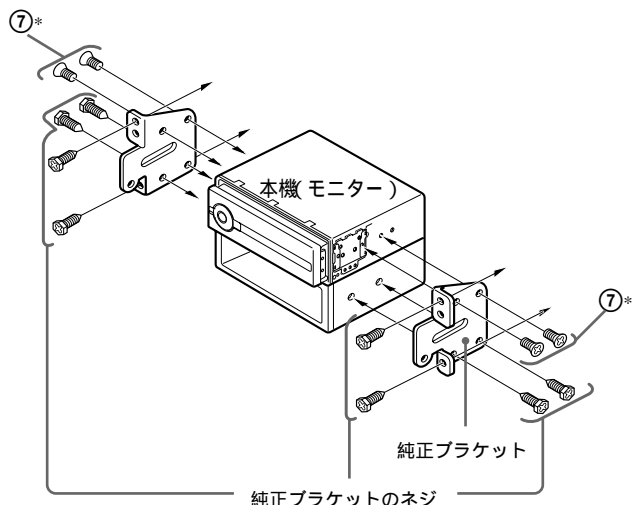
### 3 本機(モニター)を取り付ける。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

#### ご注意

- 本機(モニター)のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機(モニター)の上部に物をはさみ込まないでください。

#### トヨタ車/三菱車の場合 (イラストはトヨタ車の場合)



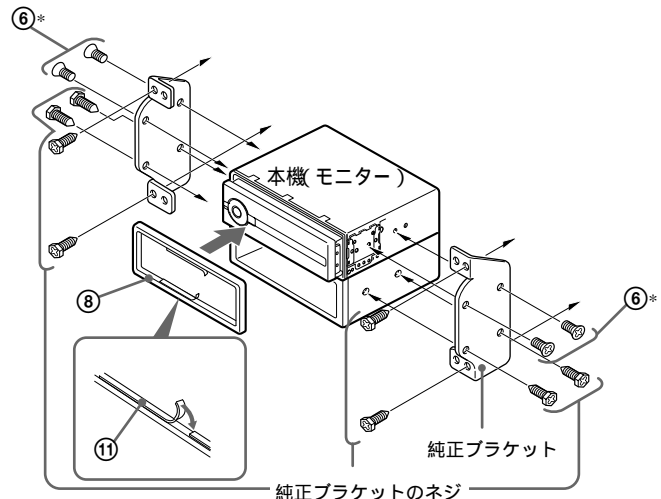
### 取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむようにセンターコンソールやインダッシュのなるべく高い位置に取り付けてください。2DINサイズの場合は、必ず上段に取り付けてください。

### 取り付け角度

水平から25°以内で取り付けてください。25°以上傾けて取り付けるとモニターのセット/収納ができなくなるなどの原因となります。

#### 日産車の場合(手順2でサイドブラケットを前のままにしたとき)



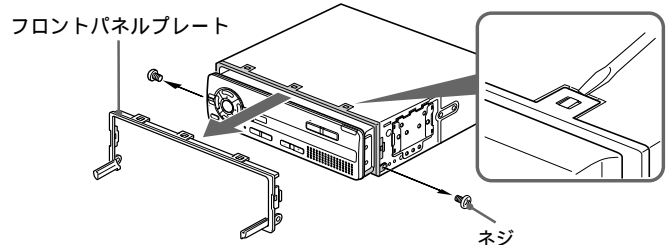
#### 日産車の場合(手順2でサイドブラケットを後ろにずらしたとき)

### 3-1

本機(モニター)のサイドブラケットを取り外し(手順2を参照)、両側に取り付けられているネジを取り外してフロントパネルプレートを取り外す。

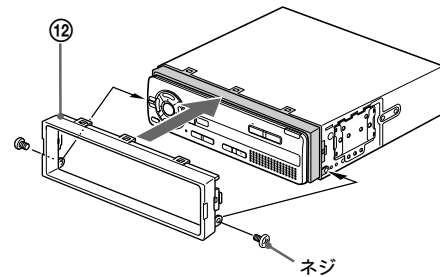
#### ご注意

フロントパネルプレートは破損しやすいので無理に引っ張ったりしないでください。



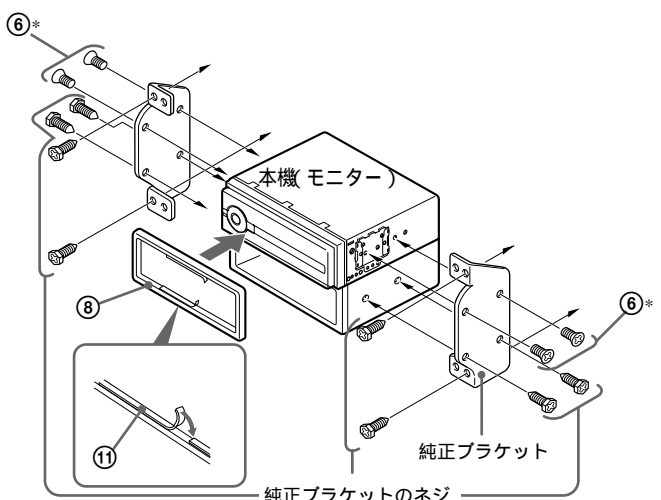
### 3-2

フロントパネルプレート⑫を取り付けて、両側のネジで固定する。



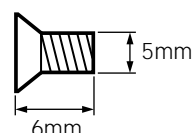
### 3-3

本機(モニター)のサイドブラケットを取り付け(手順2を参照)、日産用プレート⑧を取り付ける。

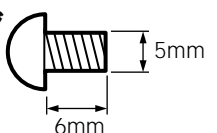


\* 必ず付属の皿ネジ⑥またはトラスネジ⑦で取り付けてください。他のネジで取り付けの場合は、必ず次のサイズのものをお使いください。

皿ネジ  
最大寸法  
⊕K5×6mm

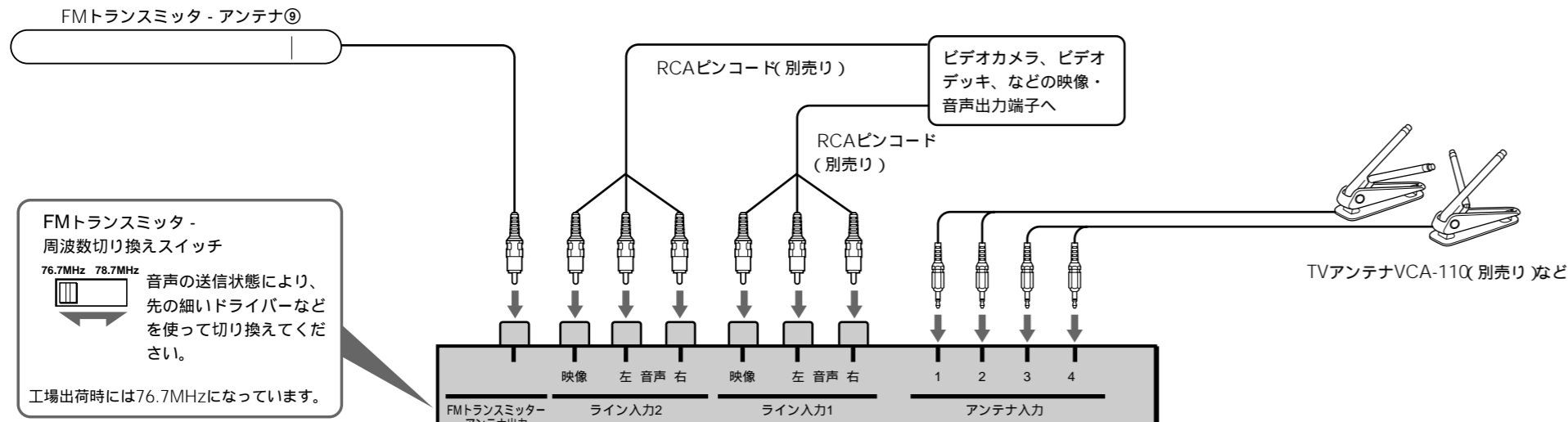


その他のネジ  
最大寸法  
⊕T5×6mm



これらより長いネジを使うとモニターのセット/収納ができなくなるなど故障の原因となります。

# 接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

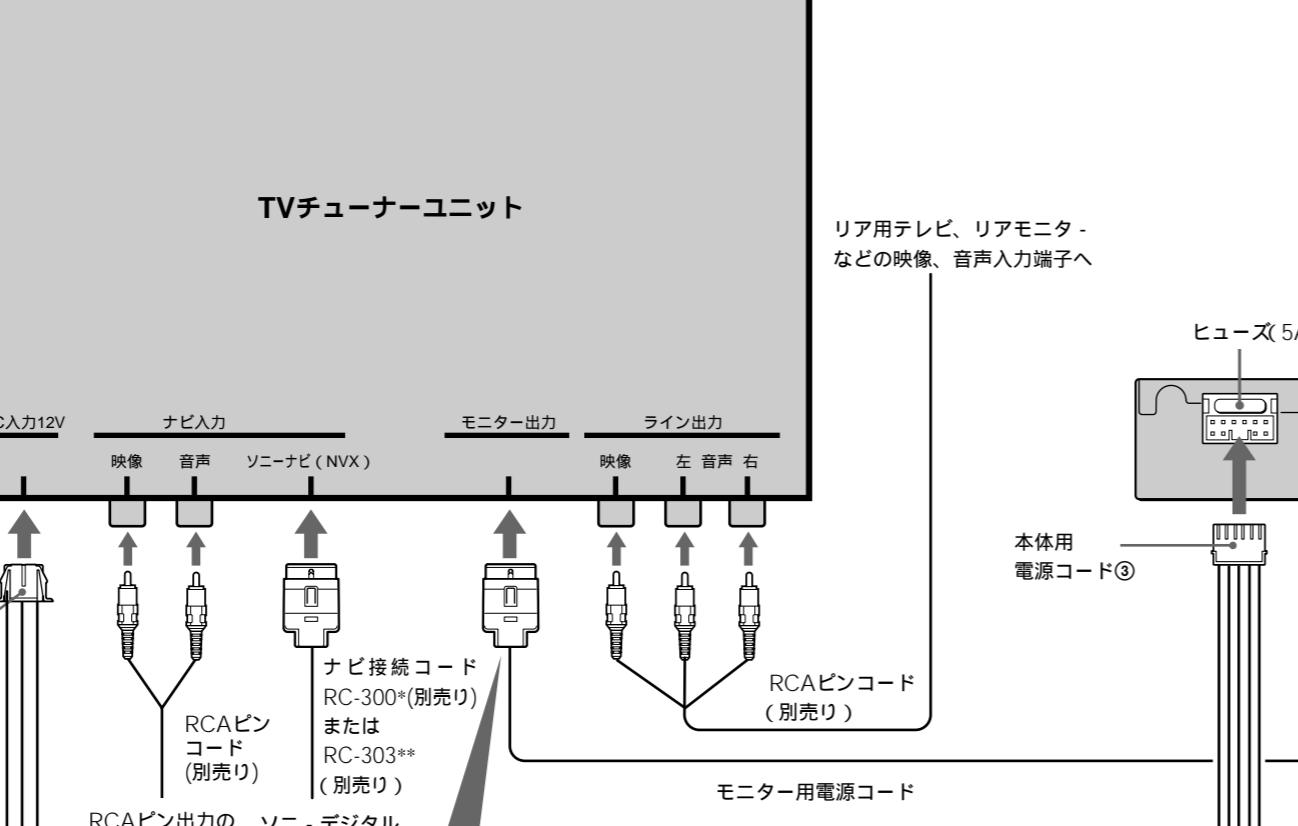
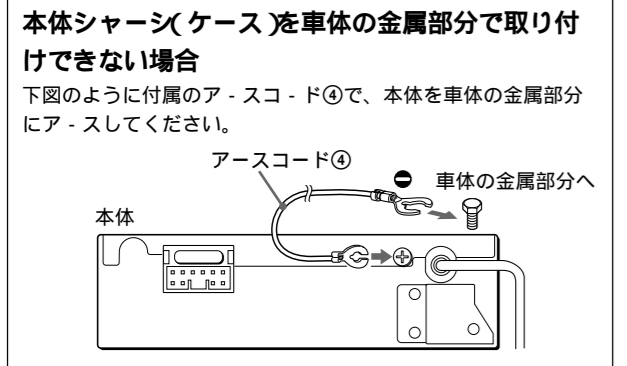
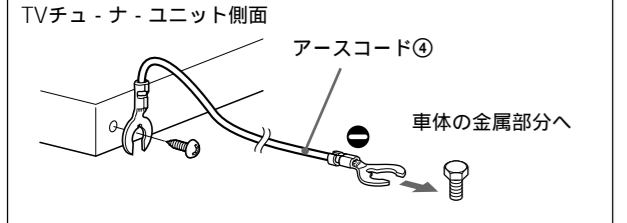


**FMトランスミッター - 周波数切り換えスイッチ**  
76.7MHz 78.7MHz  
音声の送信状態により、先の細いドライバーなどを使って切り換えてください。  
工場出荷時には76.7MHzになっています。

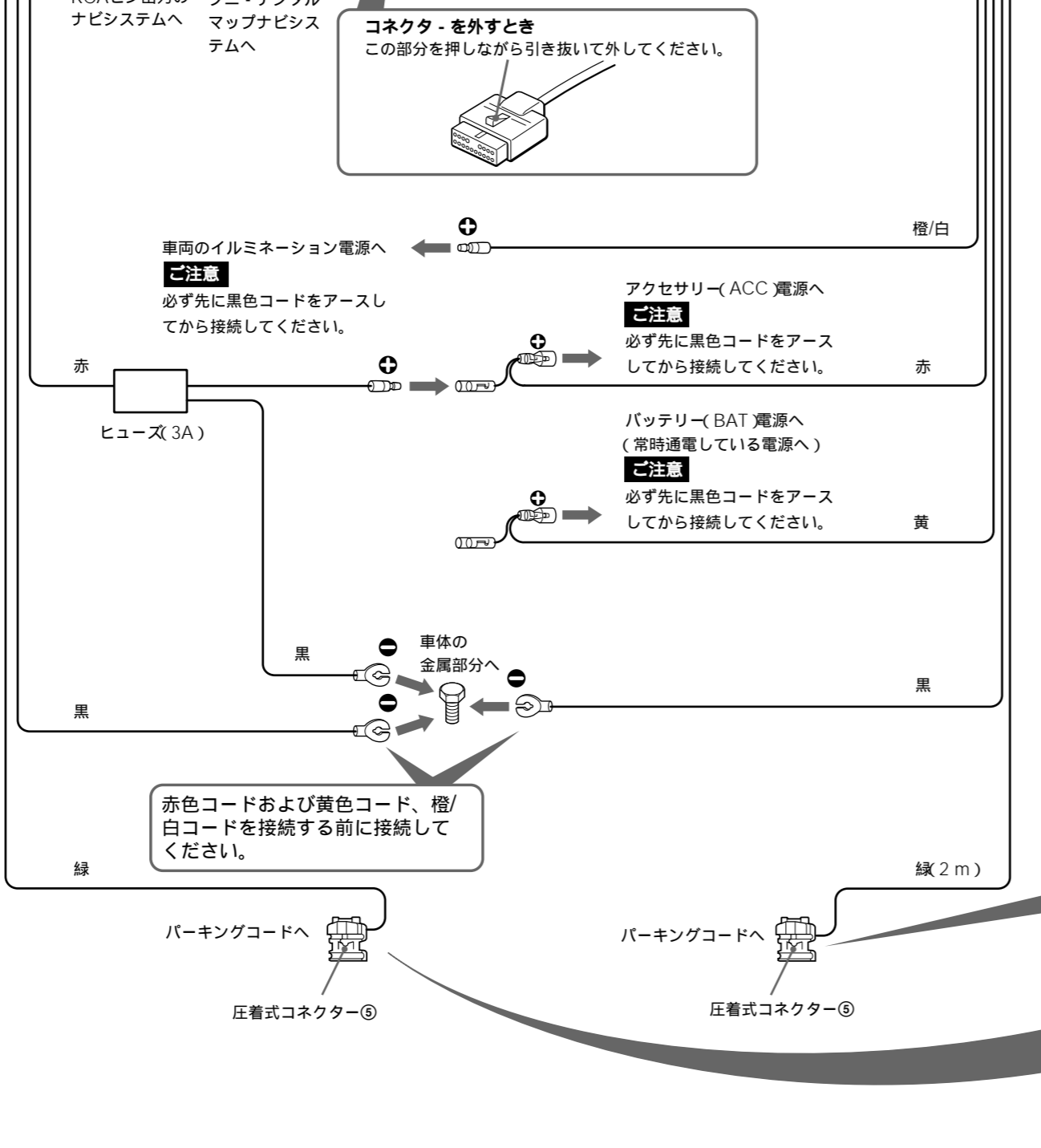
**【注意】**  
・ナビ入力端子は、ナビシステム用端子です。ナビシステム以外の接続はしないでください。  
・ソニーのナビ画面をライン出力に接続した他のモニターで見るときは、ナビシステムのビデオ/オーディオアウトをTVチューナーユニットのナビ入力の映像と音声にRCAピンコードを使って接続してください。  
・ソニーと他社のナビシステムを同時に接続しないでください。画像がみだれて使用できません。

取り付けと接続が終わったら、車のイグニッションスイッチをACCまたはONの位置にして、ナビシステムの地図ディスプレイヤーのリセットボタンをボールペンの先などで押してください。

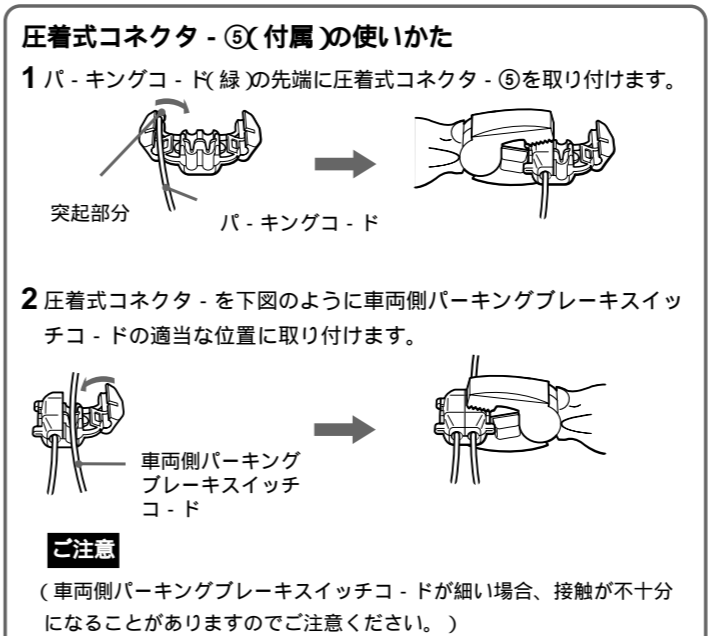
**車両からの電源ノイズを減らすには(一部車種)**  
ラジオ受信時の雑音を減らしたり、無線機や携帯電話の影響を受けにくくするため、必ず下図のようにアースコード④でTVチューナーユニットを車体の金属部分にアースしてください。



**コネクタ - を外すとき**  
この部分を押しながら引き抜いて外してください。

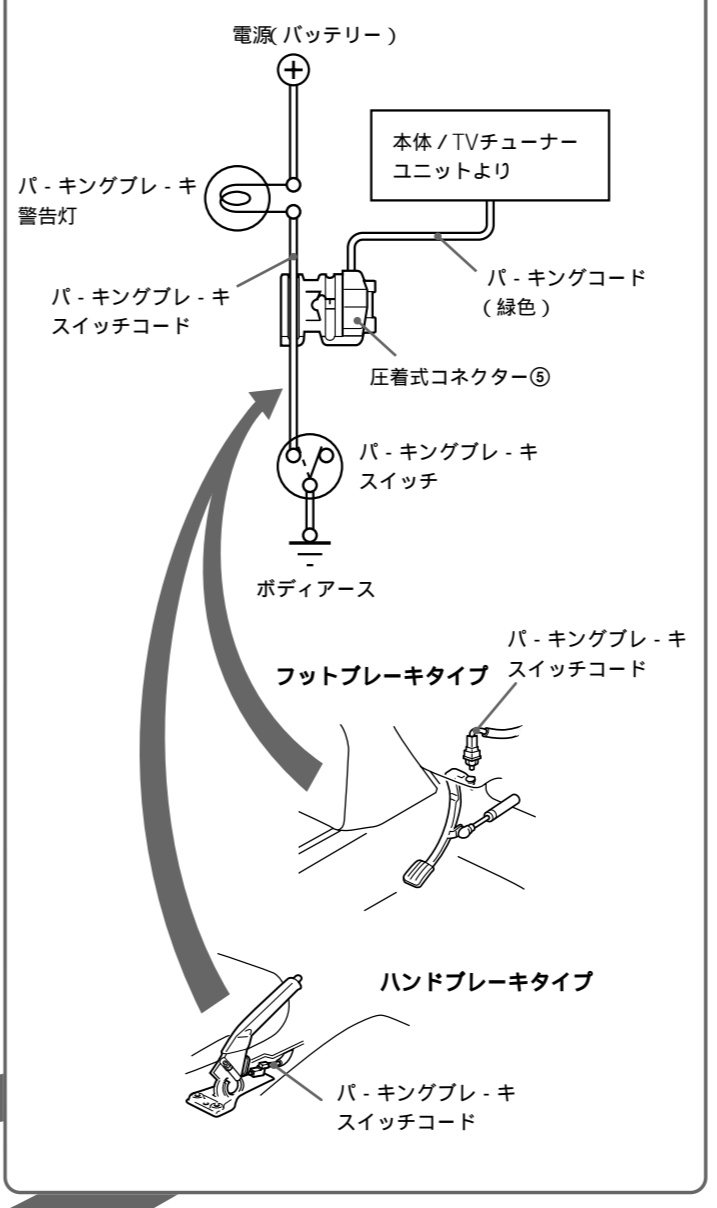


赤色コードおよび黄色コード、橙/白コードを接続する前に接続してください。



**パーキングブレーキコードの接続**  
安全と事故防止のために、パーキングブレーキ(緑)は必ず車両側パーキングブレーキスイッチコードに接続してください。

パーキングブレーキスイッチコードの位置は車両によって異なります。下図は代表的な例ですが、くわしくはお買い上げ店にご相談ください。



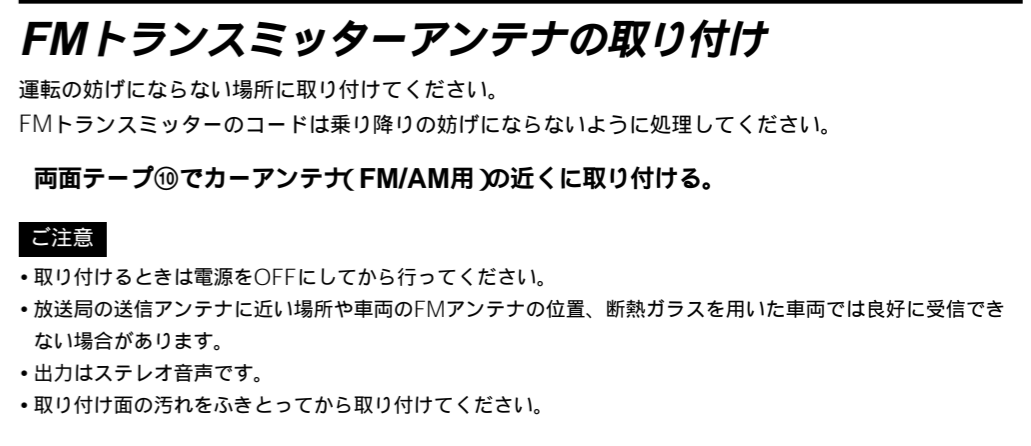
**ショート事故を防ぐために**  
作業中のショート事故を防ぐため、電源コード(赤色コードと黄色コード、橙/白線コード)の接続は、接続作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子を外してから行うようにしてください。ただし、ドライブコンピューターやカーオーディオ、ナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーのマイナス端子を外すと、ドライブコンピューターやカーオーディオ、ナビゲーションコンピューターのメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

**電源コードの色分け**

赤色コード	アクセサリ(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにする、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
橙/白色コード	イルミネーション電源入力コード 車のヘッドライト(スモールランプ)スイッチを入れたとき、本機の画面が減光します。
緑色コード	セーフティードライブ用コード 車のパーキングブレーキコードに確実に接続してください。

**ヒューズ**

- ・本体の後面や、TVチューナーユニットの電源コード間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- ・電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンブなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。



**FMトランスミッターの動作確認をする**

付属のFMトランスミッターアンテナを接続したときは、次の手順でカーオーディオからテレビの音が出ることを確認してください。

- 1 本体のOPEN/CLOSEボタンを押す。  
モニターがセットされて映像が映ります。
- 2 カーオーディオのFMチューナーの電源を入れる。
- 3 カーオーディオの受信周波数を合わせる。  
TVチューナーユニットのFMトランスミッター周波数切り換えスイッチで切り換えた周波数(76.7MHzまたは78.7MHz)に合わせます。

くわしくは別冊の取扱説明書の「カーオーディオで音声を聞く」をご覧ください。

